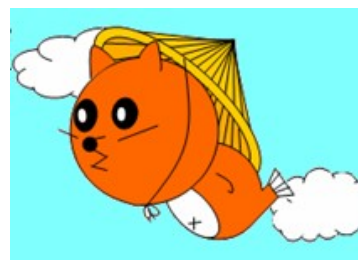


大津地検先輩職員からの
メッセージ／受験生の皆様へ
(採用2年目・1年目の職員)

広報キャラクター
びわぼん



R8.4採用
担当部署
証拠品係
(男性)

私はもともと警察官志望でした。しかし、検察事務官として働く方が多様な事件に触れることができ、やりがいとともに様々な経験を積むことができると考え志望しました。

現在は証拠品担当として業務をしています。警察から送られてきた証拠品の受入、捜査や裁判に使う際まで適切に管理する保管業務、公判確定後に不要となった証拠品の処分を主に行っています。

事件記録の詳細な確認を行う中で書類不備があれば、証拠品を受け入れることができないこともあるので、責任も感じつつ、やりがいを持って日々の業務に取り組んでいます。

大津地検は小規模であることから報連相が行いやすい環境にあります。

また、職員も親しみやすい方々なので働いていてすごく楽しいです。

私は、説明会やパンフレットを見て検察庁について知り、事務職で公安職のような経験ができるところに惹かれ、検察事務官を志望しました。

大津地検のいいところは、小規模庁のため1人あたりの業務の量が幅広く、庁舎がきれいで、駅近、支部についても立地がいいことです!!!

検察事務官として働く前は、法学部出身でないことなど不安要素がありましたが、わからないことは周りの上司に何でも聞ける雰囲気で、研修も充実しているので、問題なく勤務することができています。研修については、座学だけでなく現地に行ったりすることも少なくないです。

興味がある方は、業務説明会や官庁訪問に来てみてください!!!



R7.4採用
担当部署
庶務係
(女性)



R7.4採用
担当部署
記録係
(男性)

私は説明会や官庁訪問を通じ、司法に関連する検察庁に興味を持ち、検察事務官の仕事に就きたいと思うようになりました。

大津地検を選んだ理由は、小規模な庁のため、個々が幅広い業務に関わることができるのでやりがいも大きく、成長に繋がりやすい環境であると感じたので大津地検で働きたいと思いました。

また、入庁前は法律などの勉強をしたことがなかったため少し不安もありましたが、研修制度が充実しているため、法に関する知識や検察庁の業務を基礎から学ぶことができます。

わからないことがあっても周囲の上司、先輩方が丁寧に教えてくれますし、新しいことにも積極的に取り組むことができるので、働きやすい環境だと思います。